

令和2年度「学校評価結果報告書」

学校法人 仏光学園
認定こども園ぶっこう幼稚園

当園ではこの度、令和2年度の学校評価として、教職員自己評価を実施いたしました。教職員一人ひとりが、自らの教育活動や園運営の状況を振り返ることで、自園や園全体を見つめ直すいい機会となりました。

また、それぞれの評価結果について、皆で話し合うことにより、成果や今後の課題、改善の方向性などを明らかにすることができました。この結果を深く受けとめ、さらなる教育活動の充実、教育環境の整備、教職員の資質向上に努めてまいります。

I. 教育目標

詰め込まれた知識ではなく、豊かな環境の中で自ら経験することで得られた知識と、一人ひとりが大切な存在だと感じる心を育み、智慧と慈悲を備えた子どもを育成する。

II. 今年度の重点目標

- 教育活動の見直し・充実
- 初等教育への接続
- 制作活動の充実
- 教職員の意識改革と資質向上
- 乳児クラスと幼児クラスの連携
- 保護者との連携
- 園内美化の強化
- ICT化の活用

評価項目		取組み内容	取組み状況	
1	教育活動の見直し・充実	生きる力の基礎となる3つの資質を育むことを意識した保育計画を作成し、実施する。 また平成30年度から見直した、「年度前半は、子どもに負担を強いる形骸化した行事を取りやめて、遊びを通した保育者と子ども、また子ども同士の関わりを大切にして、後半の運動会・制作展・音楽会などの各行事に集中して取り組む」を継続し、その成果をみる。	A	・新型コロナウイルス感染症のため、各行事についても縮小を余儀なくされたが、日々、感染症対策を徹底して取り組んだ。 ・コロナ禍で実際の保育は、6月スタートとなったが、前半に行事を減らしていたため、子どもたちとゆっくり過ごすことができた。 ・コロナを一つの機会ととらえ、一つ一つの行事について見直しを行い、再度年間スケジュールを立てていく。
2	初等教育への接続	小学校教育への円滑な接続に向けて、「幼児期の終わりまでに育って欲しい姿」を意識した保育計画を立てる。また、それに沿って教育を行い、初等教育への円滑な接続に繋げる。	B	・今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、小学校教諭や他の幼稚園と交流・直接の対面による面談ができなかった。（例年であれば、年長組の全ての園児に対して実施・交流等を行っている。） ・「幼児期の終わりまでに育って欲しい姿」については、保育計画を立てて、それに沿って日々の保育を行うことができた。

令和2年度「学校評価結果報告書」

学校法人 仏光学園
認定こども園ぶっこう幼稚園

3	制作活動の充実	<p>幼児クラスでは、昨年度同様絵画制作を充実させ、外部の展覧会にも多く出品させ、入選者の表彰を行うことにより、子どもたちのやる気にも繋げる。</p> <p>乳児クラスでは、一年の制作の集大成として、年間計画の中に12月の制作展での発表を組み込み、活動を行う。</p>	A	<ul style="list-style-type: none"> ・外部の展覧会に出品し、入賞作品として数多く選ばれ、子どもたちも良い経験をすることができた。 ・月ごとの制作では、その月の成長段階に合わせて技法を変えたりして作品を残していくことができた。また、季節ごとに壁面を工夫した。
4	教職員の意識改革と資質向上	<p>園として、質の高い保育を提供できるよう、園内・外研修等を受講して、教職員の資質向上に努める。</p> <p>また、そこで得られた知識を教職員間で共有し、日々の保育に活かしていく。</p> <p>乳児から幼児まで全てを担当できる人材を育てていく。</p>	B	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、研修の中止等が多く、あまり参加することができなかった。 ・受講した研修については、教職員間で共有し、日々の保育に活かした。 ・令和3年度より、オンラインで研修を受講できるようにする。
5	乳児クラスと幼児クラスの連携	<p>0～6歳までの連続した6年間の子どもの保育・教育を担う施設としての体制作りを行う。また、行事についても保護者にただ「見せる」という行事だけではなく、子ども同士が交流できるような行事を一緒にを行い、交流を深める。</p>	B	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、交流・連携を行うことが難しかった。 ・令和3年度は、状況を見ながら、異年齢の交流ができるような行事・機会を設けていきたい。
6	保護者との連携	<p>園児の生活全体を豊かにするために、家庭との連携を密に図る。また、園の教育方針がより広く深く保護者に周知・浸透していくよう「ぶっこう幼稚園ガイド」やHP、ブログ等で情報を発信していく。</p>	A	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月のおたより・ブログ・懇談により、保護者との連携を行った。（今年度より、0～2歳児もブログを更新） ・保護者の方に、より周知・浸透していくよう、令和3年度以降、毎月のおたよりにもブログの更新日を掲載していく。
7	園内美化の強化	<p>「環境を通して行う」という幼児教育の基本を踏まえ、日々の清掃や後片付けを含めた環境を意識し、環境構成をするように努める。</p>	A	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に片付けをして、美化に努めていた。また、感染症対策として、園内・おもちゃの消毒・除菌について日々心がけた。 ・遊具や園庭の状態などについても、定期的な点検を実施していき、安全対策を徹底する。
8	ICT化の活用	<p>人型ロボットPepperくんを導入して、ロボットと一緒に遊びながら未来を体験できる環境をつくる。また、Pepperくんが音楽や英語を学んだり教育にも活用していく。</p>	C	<ul style="list-style-type: none"> ・クラスによっては、Pepperくんと一緒にダンスをしたり、音楽に合わせて動いたり遊んでいたが、教育に取り入れることができなかった。 ・令和3年度以降、KUMIITAを取り入れた遊びを活用していく。 ・PCやDVDをもとに、映像等視覚から学べる機会も今後考えていく。

令和2年度「学校評価結果報告書」

学校法人 仏光学園
認定こども園ぶっこう幼稚園

【評価の基準】

S	十分達成されている
A	達成されている
B	取組まれているが、成果が十分ではない
C	取り組みが不十分である

IV. 学校関係者の評価

新型コロナウイルス感染症が拡大する中、感染予防対策を徹底しつつ、可能な限り平時と変わらない保育をして頂けたように思います。そして、運動会・制作展・音楽会という子どもたちにとっての大きな目標に向かって、日々頑張り、それをしっかり発表できたことは良かったと思います。コロナの影響にもよりますが、今後は、乳児・幼児でもっと交流を持った行事もして頂ければと思います。「3.制作活動の充実」では、遠足などのイベント後にそれを題材にした制作をすることで、子ども一人一人の感性を表現できたように感じます。また、常に季節を意識した制作をして頂く中で、保育の中で自然と季節の変化を学ぶことができました。「7.園内美化の強化」は、毎朝、先生方がしっかりと清掃されており、園の敷地内はいつも明るく清潔に保たれていたと感じます。

まだまだ、厳しい状況が続いていますが、今後はコロナ対策をしつつも、子どもたちの日々の頑張りを一人でも多くの保護者に発表できるようにしていってほしいと思います。

以上